

日本儒教学会2019年度大会プログラム

日 時：2019年5月12日（日）

会 場：早稲田大学戸山キャンパス（東京都新宿区戸山1-24-1）

交通アクセス：地下鉄東京メトロ東西線 早稲田駅から徒歩3分

都営バス 馬場下町バス停から徒歩3分

費 用：大会参加費2,000円 懇親会費2,000円（いずれも大会当日、受付にてお支払い下さい）

受付開始（9:30 36号館入口）

研究発表

第一部会（10:00～12:00 36号館581教室）

1. 劉 珉（早稲田大学大学院）
王陽明の生涯にわたる出处の問題と講学の意義
司会：恩田 裕正（東海大学）
2. 阿部 亘（中山大學特聘研究員）
李贄の「邇言」論
司会：恩田 裕正（東海大学）
3. 青木 洋司（國學院大學）
毛利貞齋『論語集註俚諺鈔』について—明代學術との關係を中心として—
司会：前田 勉（愛知教育大学）
4. 増山 道康（東京通信大学）
室鳩巢「兼山秘策」にみる貧困の原因と対応策
司会：前田 勉（愛知教育大学）

第二部会（10:30～12:00 36号館582教室）

1. 秦 兆雄（神戸市外国語大学）
弓道からみた儒教の文武教育
司会：山本 正身（慶應義塾大学）
2. 黒崎 恵輔（早稲田大学大学院）
『儀禮』喪服篇の成篇過程について
司会：伊東 貴之（国際日本文化研究センター・総合研究大学院大学）
3. 梶田 祥嗣（早稲田大学非常勤講師）
「国是」再考—神宗と王安石を中心として—
司会：伊東 貴之（国際日本文化研究センター・総合研究大学院大学）

昼休み

理 事 会（12:00～13:00 33号館16階第10会議室）

評議員会（13:00～13:30 33号館16階第10会議室）

シンポジウム (13:30～17:00 36号館382教室)

儒教の広がり と 多様性—琉球・ベトナム・満清—

趣 旨：儒教というと日・中・韓の3カ国を対象として語られることが多い。だが、この他に、かつては日本と別の国家だった琉球、科挙制度を導入していたベトナムなどにも浸透していた。また、清朝においては儒教經典の満洲語訳が作成されて旗人官僚に読まれていた。これらについても検討してはじめて、儒教の複層的な全体像を描くことができるだろう。

本シンポジウムでは、琉球国における儒教の政治的・文化的な意義についての報告、ベトナム諸王朝の儒教的教化と在地社会の関係についての報告、清朝における漢籍古典の満洲語への翻訳と儒教理解の内実についての報告の3つが行われる。空間的広がりのみならず、儒教が具える多様な側面についての議論を共有することによって、東アジア全体の問題としてあらためて捉え返してみたい。

報 告：中村 春作 (広島大学名誉教授)

近世琉球と儒教

報 告：嶋尾 稔 (慶應義塾大学)

ベトナム阮朝の漢文訓諭と民間におけるその受容

報 告：渡辺 純成 (東京学芸大学)

清初における満洲語儒教書と「格物」理解

コメンテーター：小島 毅 (東京大学)

司 会：林 文孝 (立教大学)

総 会 (17:00～17:30 36号館382教室)

懇親会 (17:45～20:00 33号館3階第1会議室)

*事前に大会、懇親会の出欠は取りません。参加費はいずれも当日、受付にてお支払い願います。

以 上